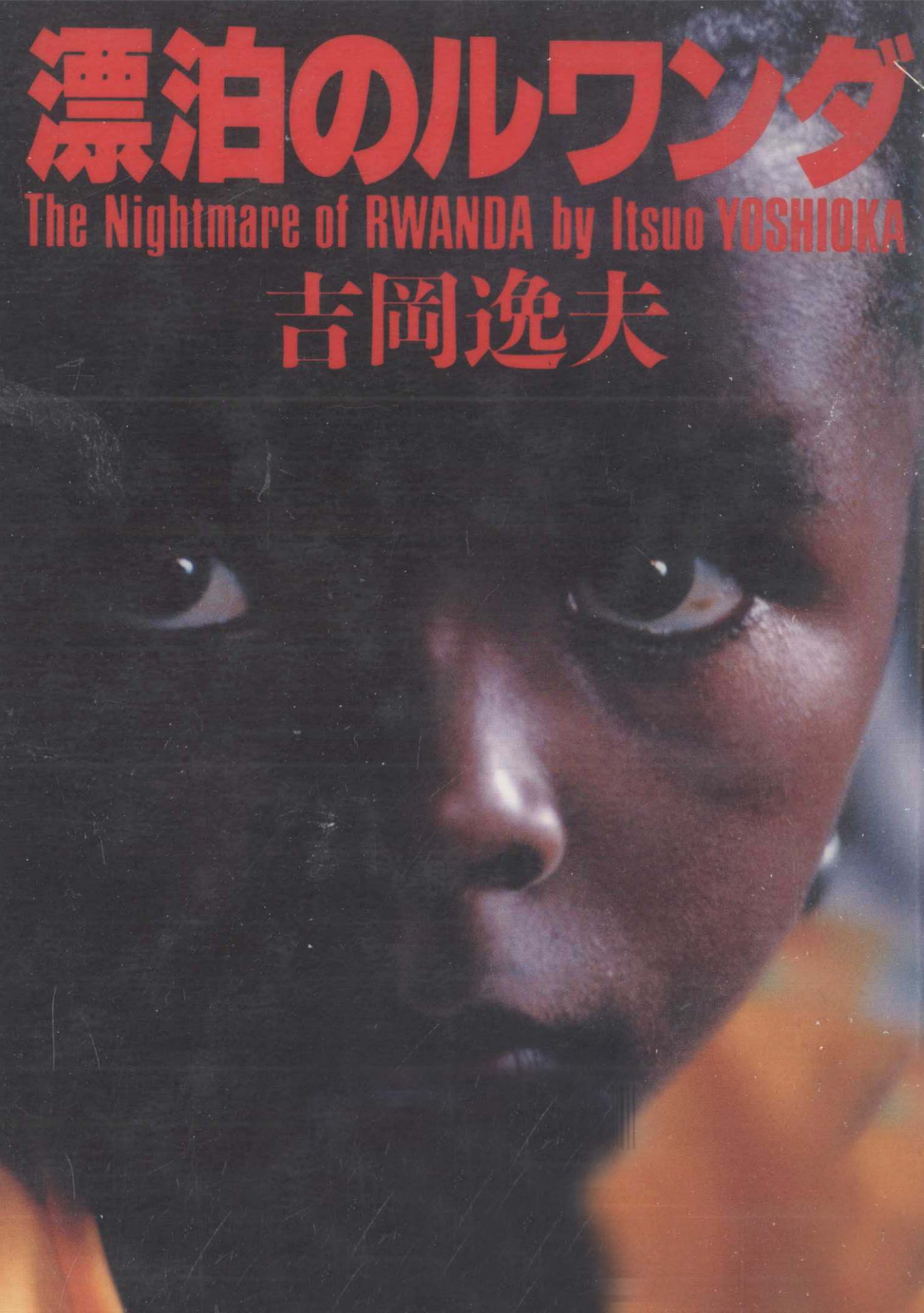


漂泊のルワンダ

The Nightmare of RWANDA by Itsuo YOSHIOKA

吉岡逸夫



漂泊のルワンダ

一九九六年四月二八日 初版発行

著者紹介

吉岡 逸夫（よしおか いっお）

一九五二年、愛媛県生まれ。米国・コロンビア大学大学院（ジャーナリズム科）修了。青年海外協力隊員としてエチオピアTV局と同国難民救済委員会に勤務。その後、世界約五〇カ国を放浪、取材。最近では東欧の激動、湾岸戦争、カンボジアPKOなどを取材。現在、東京新聞記者。九三、九四年東京写真記者協会賞受賞。著書に『厳戒下のカンボジアを行く』（東京新聞出版局）写真集に『わがエチオピアびと』（ブロンズ社）ほか。

著 者——吉岡逸夫

発行者——飯田泰一

発行所——株式会社ティビーエス・ブリタニカ

〒一五三 東京都目黒区目黒一丁目二四番一二号 伊藤忠燃料ビル

電 話 販 売 （〇三）五四三六―五七二一

お客様相談室 （〇三）五四三六―五七一

振 替 東京〇〇一一〇―四―一三三三四

印刷・製本——図書印刷株式会社

© Isuo Yoshioka, 1996

ISBN 4-484-96211-X

Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取替えいたします。

漂泊のルワンダ

The Nightmare of RWANDA by Issuo YOSHIOKA

吉岡逸夫



TBSフリタニカ

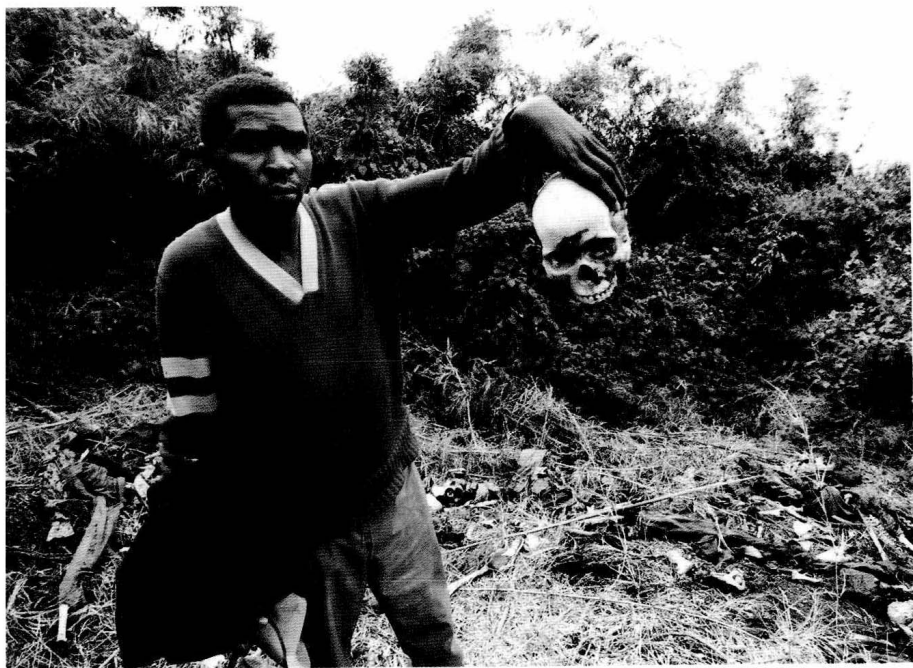


延々と続く難民キャンプのテント(ザイール、キブンバ・キャンプ上空)





自衛隊のテント張りを手伝う子供たち(ザイール、ゴマ)



殺されたフツ族の仲間のお骨を見せる村人、フェベナルさん(ルワンダ・ザイール国境、帰還難民虐殺現場)



ツチ族の女性たち(ザイル、ゴマ)



フツ族の女性たち(ザイル、ゴマ)



教会での大虐殺現場(ルワンダ、ナラマ)



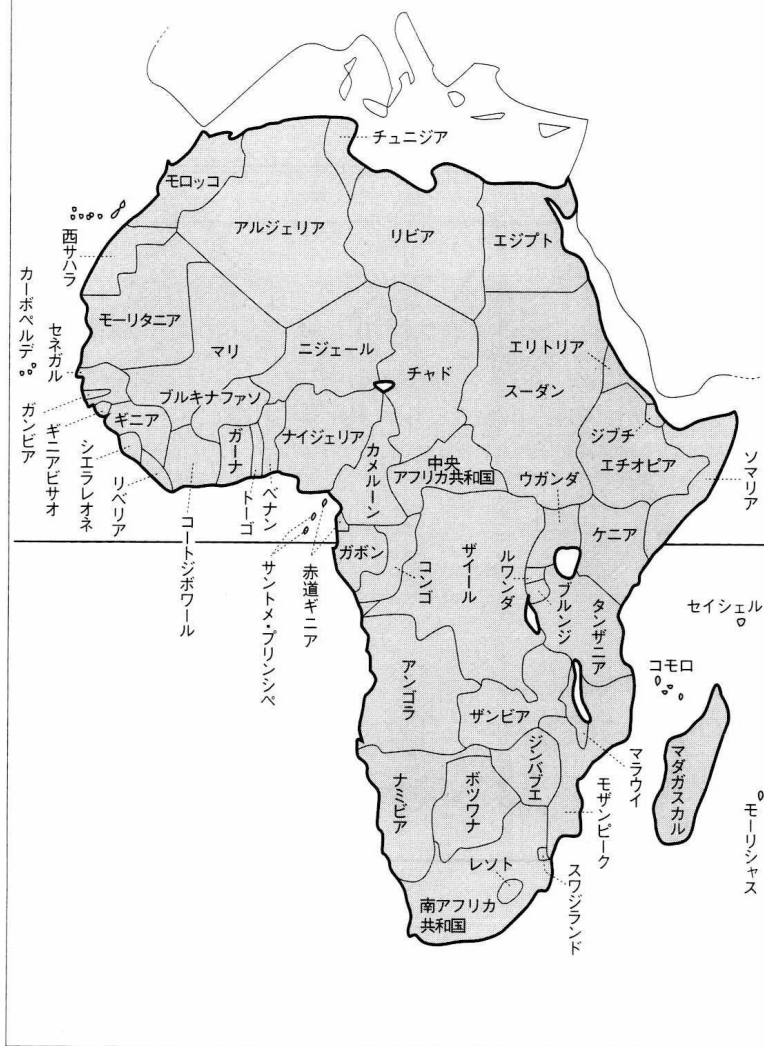


難民たちによる朝のミサ（ザイール、ゴマ郊外）

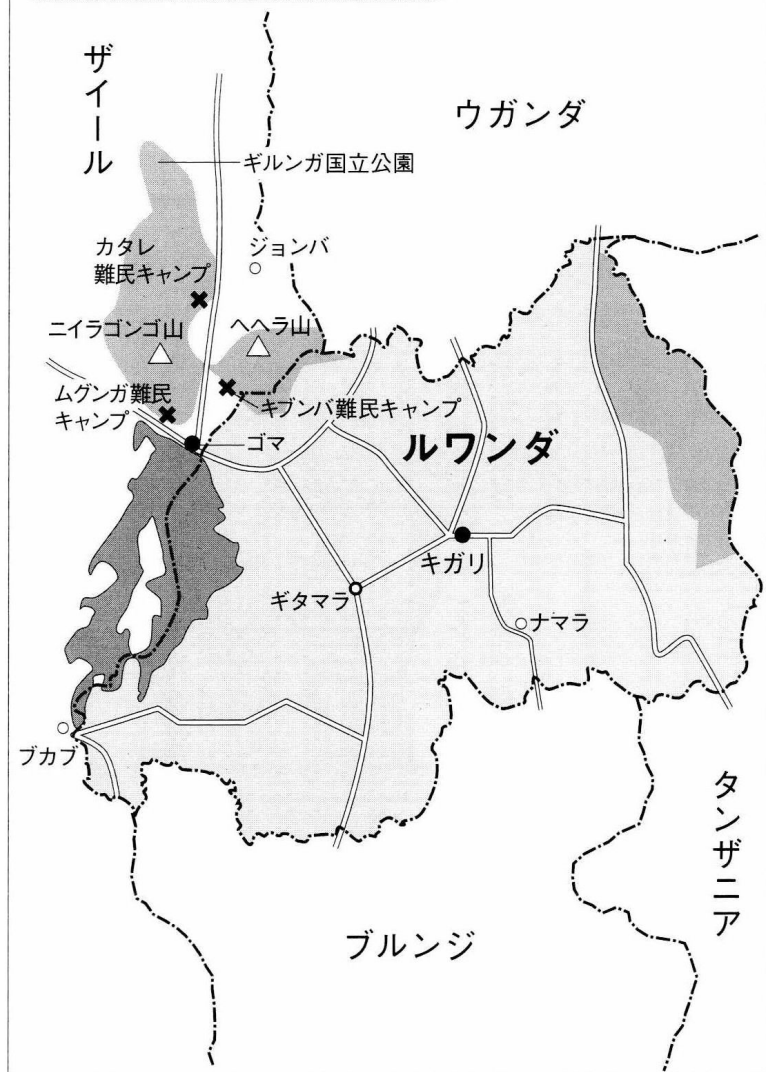


難民の結婚式（ザイール、キブンバ・キャンプ）

アフリカ



ルワンダ・ゴマ周辺略図



ルワンダ

アフリカ大陸中央部に位置する内陸国。正式名称はルワンダ共和国。面積二万六三三八平方キロメートル。人口は六五〇万七二〇万（難民二〇〇万、二五〇万〔うち一五〇万、二〇〇万は在ザイール〕を含む。一九九四年八月末推計）で、フツ族九〇％、ツチ族九％、ツワ族一％（一九八三）。首都は最大都市のキガリ（人口二三万七七八二、一九九一。九四年の内戦で一〇万、一二万減少）。公用語はキンヤルワンダ語とフランス語。宗教はカトリック六五％、伝統信仰一七％、プロテスタント九％、イスラム教九％（一九八八）。大統領ジュベナル・ハビヤリマナ將軍（一九九四年四月六日まで）、テオドル・シンディクワボ（四月九日以降）、パスツール・ビジムング（七月十九日以降）、首相アガテ・ユウイリンジイマナ（四月七日まで）、ジャン・カンバンダ（四月九日以降七月十九日まで）、フォースティン・トワギラムング（七月十九日以降）。

ザイール

アフリカ大陸中央部にあり、一部大西洋に面する。正式名称はザイール共和国。面積二三万五〇九五平方キロメートル。人口は四三七万五〇〇〇（ルワンダ難民一五〇万、二〇〇万を除く。一九九四年八月末推計）で、ルバ族一八・〇％、コンゴ族一六・一％、モンゴ族一三・五％、ルワンダ人一〇・三％、アザンデ族六・一％、ルンディ族三・八％、テケ族二・七％、チョクウェ族一・八％、ルグバラ族一・六％、その他二六・一％（一九八三）。首都は最大都市のキンシャサ（人口三八〇万四〇〇〇、一九九一）。公用語はフランス語。宗教はカトリック四八・四％、プロテスタント二九・〇％、土着キリスト教一七・一％、伝統信仰三・四％、イスラム教一・四％、その他〇・七％（一九八〇）。大統領モブツ・セセ・セコ、首相エティエン・チセケディ、ジョゼフ・ケンゴ・ワ・ドンド（一九九四年七月十一日以降）。

（『ブリタニカ国際年鑑 1995』より引用）

カバー・口絵写真
装訂 三村 淳
吉岡逸夫

漂泊のルワンダ・目次

はじめに 19

第一章 旅立ち 21

自衛隊輸送機にて／タイよりアフリカ・ケニアへ

第二章 ザイルの難民キャンプにて 39

フツ族とツチ族の物語／難民うごめくゴマ／航空自衛隊、試験飛行一番機／ある難民の不思議な話／日本語をしゃべるルワンダ人女性／ヘンな日常／ポールとの出会い／プライド／難民キャンプの結婚ラッシュ／難民たちはなぜ帰らないのか

第三章 帰還難民虐殺現場にて 89

ジョンバ村へ／かけひき／地獄の山／腐臭漂う虐殺現

場／命を取るか報道を取るか／旧ルワンダ政府軍大佐／
難民に追われるマウンテンゴリラ

第四章

ルワンダにて

141

自衛隊の防疫活動／一泊二日、ルワンダへの旅／ツチ族
の「スパイ」ポールと再びルワンダへ／亡霊たち／キガ
リで活躍する日本人女性

第五章

私が見た自衛隊と日本

187

なぜアフリカはいつまでも貧しいのか／ボランティアと
は／ルワンダ難民救援隊／カンボジアのPKO／高田警
部補殺害の謎／海外派兵の正体／自衛隊の休日と日本の
平和